

門外 4
番 1606
卷 12



洛陽名所集卷之十二目錄

大魚野

依江野沼

琴彈橋

宝寺

高槻

美豆野

小垣山

向水神

鷺坂

勝龍寺

伊勢寺

大倉本社

良峯

久世

光原寺

水雲瀨

澁

浮田社

起結寺

福田寺

山崎

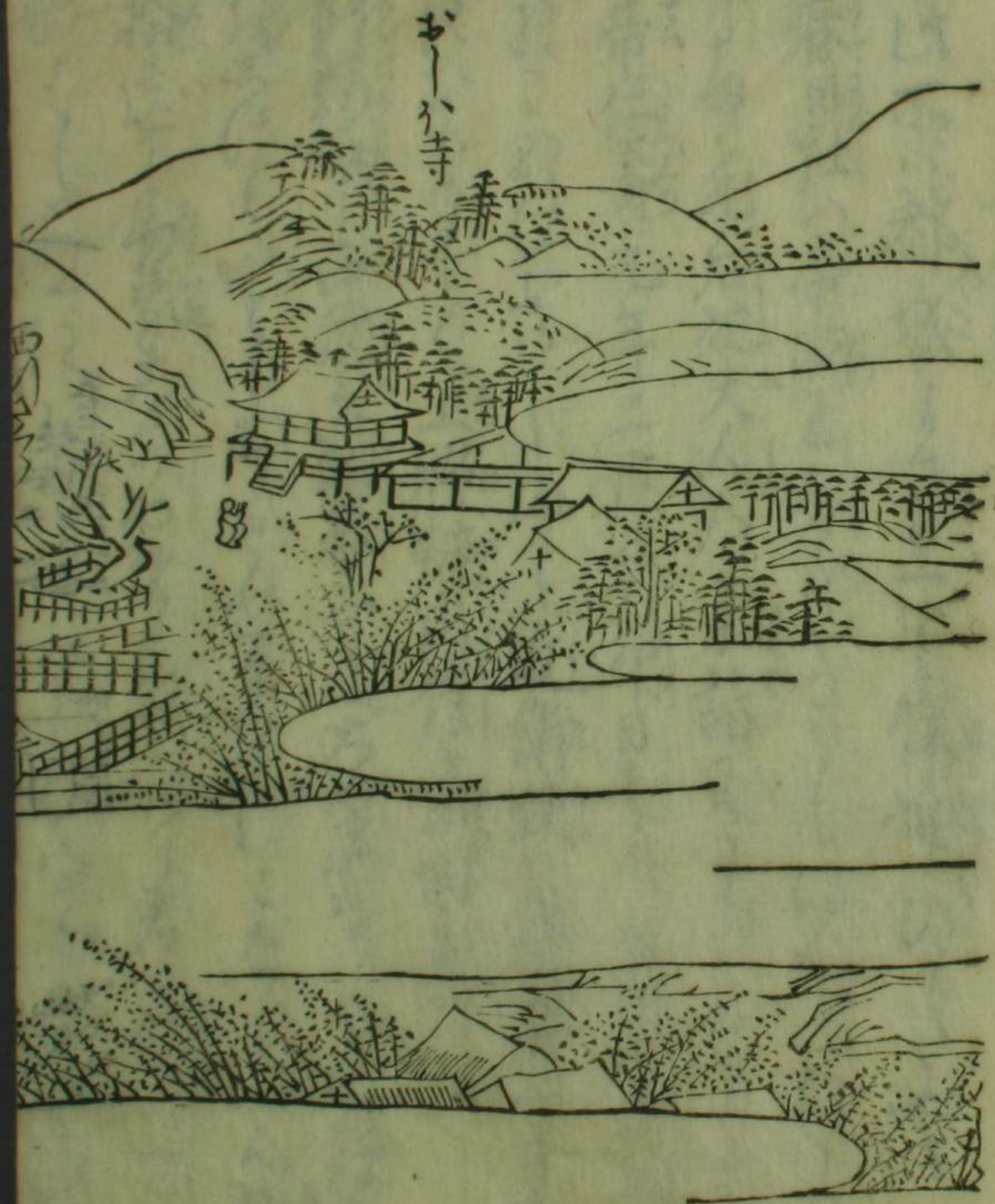
廣津

岩田野



洛陽





大原野

○は下ハ都城より一里餘坤のつらや

春日社ハ帝廟みかどなるをさうじつにゆかむといふ

ハ母后妃夫人乃系まご請まねむととなり。文德

帝仁壽元年二月上の卯日うにゆかむ。けと

於こむひおつし海うみ。近衛使ハ春日をまう

におたりし上郷辨内侍かみを殺向ころと

新物あらた換かし中納言ちゆうなごん朝患あそうと。ちをわさむのあは

城しろをけしむしちとせをうけとたりし人ひとは

拾遺しゆいハ宮家みやけちをわさむのちを君きみのつら

かたしむたにちりしなりたるはたか宣のたま朝あそ也

けいふのこころをいふにやあや一葉り
こころをいふにやあや一葉り人の心
きこひつぐくわらうり位ぞるどさうれ
一に世の中をいふにやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り

小塩心

○けいふち余のこころをいふにやあや一葉り

貫之のこころにやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り

良岑

○けいふ大承のこころをいふにやあや一葉り

親人のこころをいふにやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り
さとしはるふらう大承の母とてはる
もさうさうはるにやあや一葉り
いふにやあや一葉り揚花のさしを
にやあや一葉り正三位
為實にやあや一葉り



山崎

○けし 海陽 くらと 坤のついで 路程之里

とく くらと 油くらと 人 國縣より 静

買し けし 人 乃と たり 富家 おく あり

ひの たら くらと くらと 一 交け 大造 くらと

くらと 酒解神 乃社 一 座 山崎神 と 号 くらと

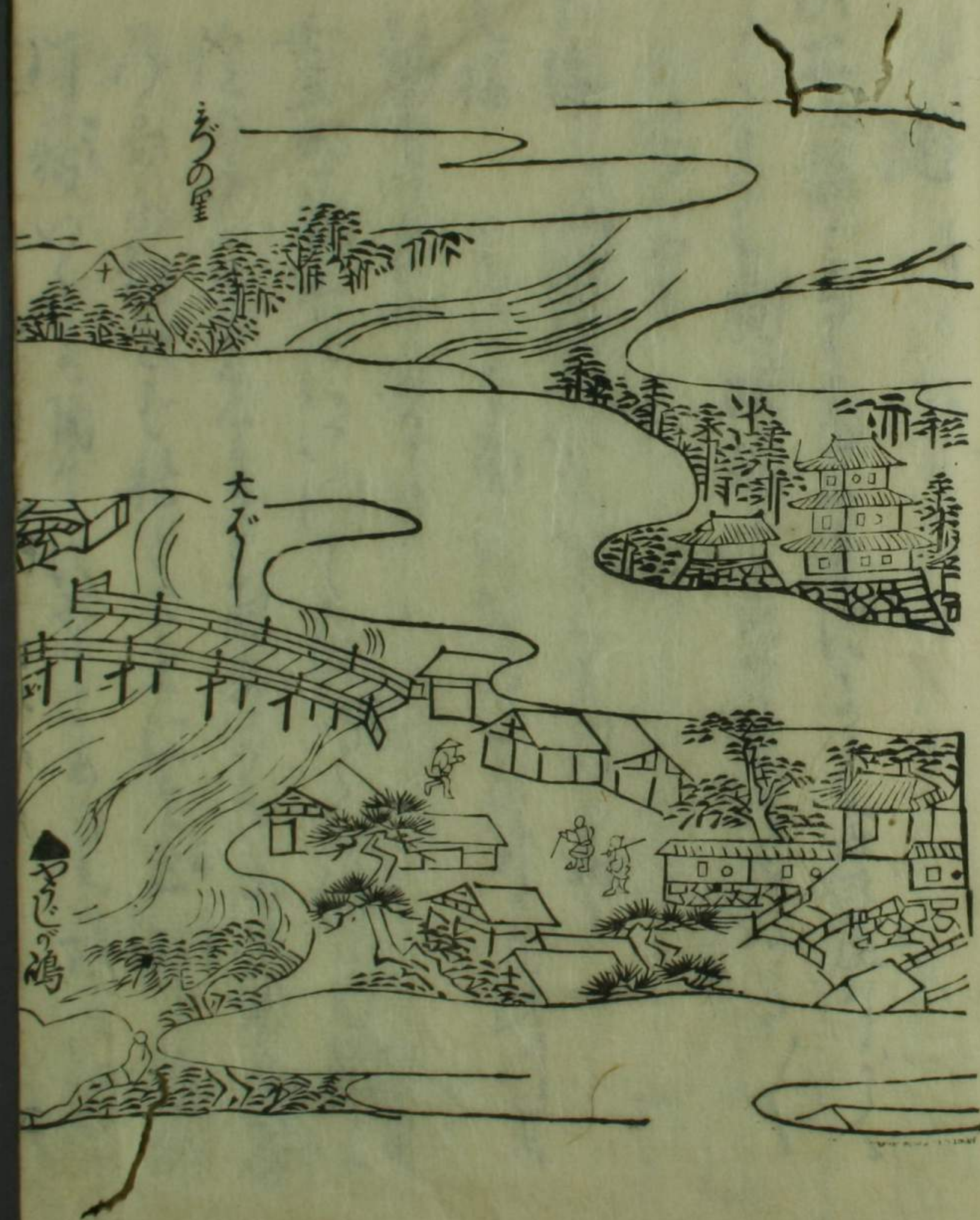
延喜式 乃 山崎神 と 号 くらと

ひし 海陽 意信 乃 山崎神 と 号 くらと

くらと 空体 上人 也 号 一 也 東村

振列の 中心 乃 一 面の 観音 乃

上官太子百濟の伝
エは 乃 乃 乃 乃 乃



淀

○は玉の都よりとも之里にゆく。度屋がくく
はくさるる。廣城のくもきくくくく

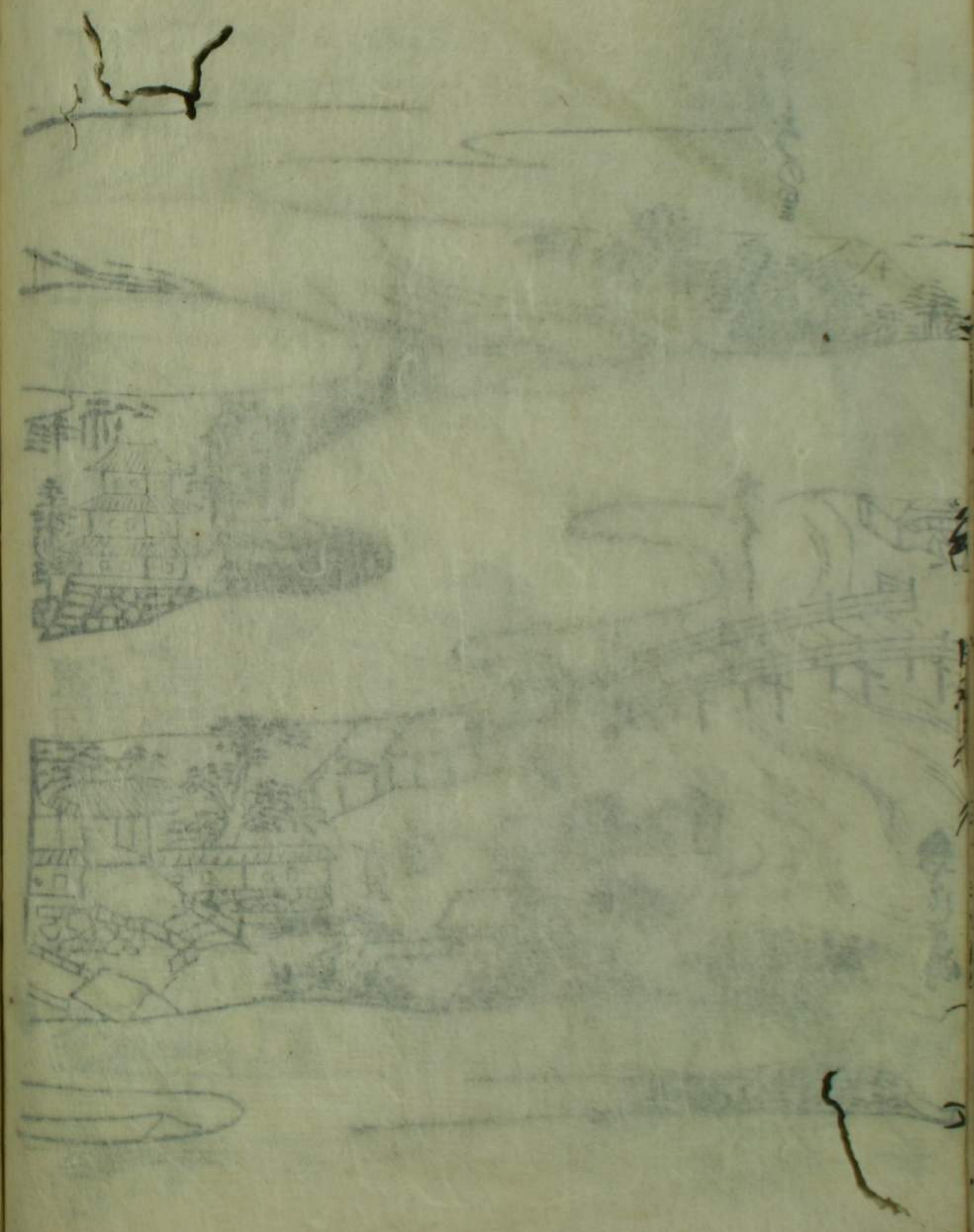
一 記地也

○小橋 淀乃水たふい。くもくもや

○大橋 淀乃水たふい。くもくもや

本津川といひたり

壬生忠見のにいけくくにむくひらん
淀のわららるる。おのくもくもくも。中納言匡房
乃よお都をともむ。おのくもくもくも。淀の
川霧つくも。おのくもくもくも。淀の



け人乃そそぐのこねほくかしく。ちかおれ
いふもをわく。行を勢流のうら。いさ
下と終しとていふあもきいそゆりさ

○ 榑枝嶋

本より江流川やみういづの嶋は位ちまをさあ
たがりのうらをさくしあしん

美豆野

家隆のまのいにねり敷さくしん吹うさしけ
偏うさば空の心あひのそで鴨長明の雀
何づか見ばのと語をさうしひまごあけけり
江流川波定さくしん

神々よまをまに白ふタラか乃花頼政
の城乃又はの室に姓はさくしん
糸うさしんさくしんあつさのあおほ
はさくしんさくしん人のさくしんめはくしん
けいあおさくしんあつさのあおほ
あつさ

大荒木社

○ け社江流乃小橋のおるり
船櫃まに人おほく候に小好し大あつさ
柱乃下出若木力たのきこも俊成のま
あつさの社まののあつさ

かの秋の夜は月

浮田社

○は枝を於たりく大荒木のほつこや

人丸をのりくしはくくやんをらん大わさ

の浮田乃森まふさめさくくよ後成に

下まを葉すさづりふるまよけりうも田

森乃又月ぬの治家隆御子に

浮田を森うり志あや苗水おけりり

らんときさくくくくくくくくくく

らんらんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらんらん

岩田小野

○はあいうしほの森乃わたり

浮田乃森まふさめさくくよ後成に

下まを葉すさづりふるまよけりうも田

森乃又月ぬの治家隆御子に

浮田を森うり志あや苗水おけりり

らんときさくくくくくくくくくく

月夜

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account. The text is written on aged, yellowed paper and is oriented vertically. The words are difficult to decipher due to the cursive style and fading, but appear to include terms like "Item", "Liber", and "Liber".

